

柳城

R y u j ' o

柳城学院報

第68号

発行所：学校法人 柳城学院

〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54
TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697

発行者：菊地 伸二

2023年8月1日



テーマ 125 周年から未来へ

CONTENTS

- 理事長・学長からのメッセージ
- 法人本部より
- 大学より
 - 名古屋柳城女子大学
 - 名古屋柳城短期大学
 - 図書館
 - 多文化共生センター
 - 幼児教育研究所
 - キリスト教センター

- チャプレンからのメッセージ
- 教学事務室
- 2023年度 就職状況
- 同窓会（のぞみの会）
- 後援会
- アドミッションセンター
- 附属幼稚園より
 - 柳城幼稚園
 - 豊田幼稚園

- 三好丘聖マーガレット幼稚園
- 2023年度 会計報告
- 新任教職員紹介
- 学院人事 & 役員名簿
- マーガレット・ヤング基金
- お知らせ

新しい歴史を刻むことのできる学院を目指して —2023年度事業計画から

理事長・学長 菊地 伸二



はじめに

今年で柳城学院は創立125周年を迎えます。今日まで歩むことができたことに対して関係の皆さまに深く感謝を申し上げるとともに、これからも、愛をもって、人びとと地域に仕えていくことのできる学院として、新しい歴史を刻んでいくことを目指しながら歩んでいきます。

2023年度事業計画

1 学院創立125周年を迎えて

1898年、創設者マーガレット・ヤング先生による保姆養成が柳城学院のスタートとなり、本年度125周年を迎えることができました。本学院の建学の精神「愛をもって仕えよ」（人びとと共に生き、人びとに仕える）のもと、その教育ビジョンに沿って、一步一步着実に具体的な施策を計画・実施していきます。

2 名古屋柳城女子大学こども学部完成

2020年4月に名古屋柳城女子大学を開設し、入学定員70名のこども学部こども学科がスタートし、2023年度に完成年度を迎えます。「愛をもって仕えよ」という学院の建学の精神を継承しつつ、「人びとと共に生き、人びとに仕える」ことを大学の精神とし、保育者としての専門的知識、実践力、コミュニケーション力を生かし、地域の人びとと共に生き、地域社会に貢献

する質の高い保育者を育てる大学を目指します。

3 理事会体制と教職員との連携強化

本学院の運営体制である理事と教職員との連携をはかりながら、学院の課題の発見から解決まで協働して改革・改善に取り組む体制を強化していきます。私立学校法の一部改正（令和7年4月施行予定）を見据えて、理事・理事会、監事及び評議員・評議員会の権限分配を整理し、私立学校の特性に応じた形で「建設的な協働と相互けん制」を確立する体制を構築します。

4 大学および短期大学への入学者の確保

名古屋柳城女子大学および名古屋柳城短期大学の定員確保を実現するために、教職員が一丸となって学生募集のために取り組んでいきます。学長のリーダーシップのもとに、広報戦略会議を実働させ、大学・短大教職員との連携強化を図り、目標達成に努めます。

5 教育の質保証と学生支援の強化

IR室を中心に教学関係の課題の整理や分析に有効なデータを洗い出し、関係委員会・部署と連携して「教育の質保証」の可視化に努めます。学生生活や就職のサポートについては、当該委員会・部署が連携しながら構築します。

6 柳城学院の中期計画の策定と大学運営の強化と推進

柳城学院の新しい歴史を開く中期計画も今年度で五年目となります。柳城学院の地域での役割を盤石にし、これからの将来に向けて充実した活動を推進します。

後援会、同窓会、教会関係、幼稚園、保育園、施設など柳城学院の関係する団体、企業など広く内外に呼びかける募金活動（受配者寄付金制度）を、また、より優れた保育者養成のための給付型奨学金として「マーガレット・ヤング基金」の充実を図ります。

7 財務状況の改革・改善

収入の増加が厳しい中、経営を安定させるために、経費の削減を進める必要があります。本学院では、現在、法人本部を中心に進めている「柳城学院経費削減計画」を滞りなく推し進め、中長期的な視点から収支構造を見直し、本学院の財務状況を安定

かつ効率的に運営できる状況にもっていくことを最重要課題として位置づけます。

8 教職員の専門性への取組

教員間の授業公開の機会や科研費等に関する学びの機会を設け、FD研修のさらなる活性化を図るとともに、教職員が協力して、教学マネジメントを活発に語り合うSD研修を実施します。昨年度、第三者評価を受審した名古屋柳城短期大学は、認証評価で明らかになった課題について迅速に対応するとともに、認証評価の内部質保証の向上に努めます。

9 附属園との連携

大学・短大の実習生の受け入れ、各種演習学生の受け入れ、教育研究活動の相互協力など、大学・短大と附属園の連携を強化します。

10 各団体との連携

大学・短大の保護者との連携の一環として保護者懇談会を行います。また、同窓会との連携によって、同窓生の現況等についての情報収集を行います。さらに日本聖公会との連携としては、第66回日本聖公会関係学校教職員研修会が8月に開催されます。

11 社会のニーズへの対応

愛知県現任保育士研修運営協議会の活動としては、今年度は、四大・短大共催で8月に園長研修を行います。「誰一人取り残さない」というSDGsの精神は、本学院のキリスト教の精神にも深く通ずるものがあり、今年度も、SDGs・ESD教育の研修を企画していきます。2025年に開催される大阪万博への参画準備について引き続き検討していきます。

12 地域貢献への取組

地域連携では、名古屋市昭和区・名古屋市昭和区社会福祉協議会、東郷町との相互連携による協定締結を踏まえて、地域社会の発展と人材育成に寄与することに努めます。大学間連携では、2020年度に締結した名古屋学院大学と包括的・継続的な連携協定を継続し、相互の教育資源を活用した共同事業の実現に向けて努めています。高大連携では、現在、八つの高校と連携締結をしており、今後もさまざまな共同企画を展開していきます。

これからの柳城学院を創造するために

125周年記念講演会

2023年6月10日(土)、中電ホール(名古屋市東区)にて、「学校法人柳城学院125周年記念講演会」が開催されました。

学生全員に呼びかけ、この日は多くの学生が参加しました。

講演会の講師には、幼児教育研究の第一人者であります恵泉女学園大学の大日向雅美学長をお願いをしました。

テーマは「保育に生きるとは～子どもたちの未来を創る皆様へ～」でした。

講演の冒頭では、本学の教育理念と精神である「愛をもって仕える」は、保育の原点である「人としての在り方」「社会が目指す揺ぎなきゴール」を目指す恵



泉女学園と一致すること、また女性活躍の道を開いてきた、マーガレット・ヤング先生への感謝の言葉が講師より述べられました。

講義の中で、講師が述べられた、「保育者はそのときどきの社会的課題にいつもアンテナを張っていてほしい。しかし、時流に流されない信念はもっていて

ほしい。社会と子どもとの関係、社会と親との関係について、時代ごとの課題、要請があるが、揺るがないものを心の中にもっていてほしい。」という言葉は、学生の胸に残る言葉となりました。

最後に講師より、「保育者が自身の生き方を真摯に問い続ける姿勢を『たゆたえども沈まず』(パリ、エッフェル塔に刻まれた言葉)の心で子どもと、そしてご自身と向き合ってください」の言葉を学生にメッセージとして届けられました。

この講演会を通して、学生をはじめ参加の教職員にとっても多くの学びを得ることができました。講師への感謝とともに、改めて養成校である本学の未来への責任を強く感じました。

(法人本部 制野 司)

カナダ保育研修

2023年3月4日(土)から3月11日(土)の8日間、学院初となる海外研修が実施されました。研修先はカナダです。

学校法人柳城学院を創設されたマーガレット・ヤング氏は、カナダ聖公会の宣教師であり、柳城学院の保育の原点ともいえる国で学ぶことは学生にとって大いに意義のあることでした。

研修での主な企画として、地元の日系保育園を伺っての交流、子育て支援プログラムの体験などがメインとなりました。

学生参加者は4名、その他教職員や引

率者を含め8名での出発となりました。

カナダ訪問後、早速カナダ聖公会の教会を訪れ、日曜礼拝にも参加しました。

翌日は、日系保育園にて研修を行いました。そこでは、多様な環境の子どもたちを受け入れていること、教育の違いなどを知ることができました。学生からの質問が多かったことから、とても良い刺激を受けていると感じられました。その後訪問した、保育子育て総合センターでも、多国籍な方が多く在住する国であることから、言語対応の環境などが整っていることも学生にとっては大変感心したとのことでした。

8日間と短い期間での研修ではありま

したが、とても有意義な研修となりました。この研修を通して、確実に学生は成長することができたように感じます。

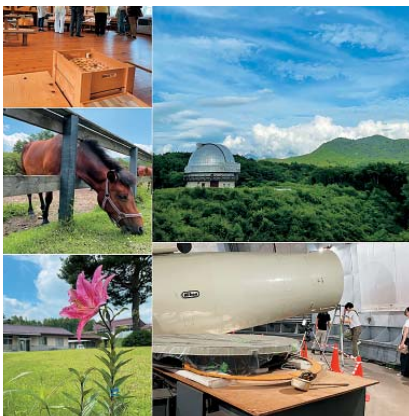
この先訪れる就職活動、そして、さらにこの先の人生に生かしてほしいと心から願ってやみません。

(法人本部 制野 司)



星空研修

2022年8月8日(月)と9日(火)の一泊二日で、長野県木曾郡木曾町にある木曾観測所等に課外実習に行きました。



この星空研修には、8名の学生と5名の教職員が参加しました。

研修前に、学生には「自然のなかで仲間とともに五感を磨き、その体験を語り合うこと」を目的として伝えました。

現地に到着後、観測所の方に、施設の案内、そして星に関しての話を伺いました。興味深く話を聞く学生の姿が印象的でした。

夜になり、改めて観測所の方からの説明を受けながら木曾から見る星空を観測しました。観測以外に、月明かりの中、学生みなで「星に願いを」の演奏を行いました。また、トーンチャイムを一人一音ずつ持ち、すれ違った人たちと心をそろえながら音を鳴らしあったりもしました。

めったに体験できない漆黒に近い暗闇

での楽しい活動は、わくわく感を醸成するとともに、学生みなにとって充実した時間となりました。

夜が明けるまでそれぞれに星を観測し、夜が明け、刻一刻と色が変わっていく空に感じ入りながら、思い思いに木曾の自然を満喫しました。

今回体験したすべての時間は、学生にとって大切な思い出に残る時間となりました。

2日間の星空研修で経験したことは、この先学生たちにとって大きな学びとなり、これからの保育に生かされるものと期待しています。

今年度もこの企画は開催の予定です。本当に楽しみで待ち遠しいです。

(法人本部 制野 司)

■ 大学より

名古屋柳城女子大学

|| 完成年度を迎えて

名古屋柳城女子大学は完成年度を迎え、全学年の学生が揃いました。設置認可された授業計画すべてを履行することになります。しかし、この3年間コロナ禍にありましたので、通常の対面授業を4月から1年間通して行えるのは、今年が初めてのこととなります。これまで行ってきた授業も授業形態の違いから、見直しを迫られています。4年生には卒業に向けて、就職支援、卒業論文の指導が初めて行われています。

また、今年度は入学者数が定員の8割を超えました。一丸となって広報活動に臨んできたことはもちろんですが、本学の教育プログラムが少しでも認められてきているのであればこの上ない喜びです。来年3月より毎年、卒業生を出していくこととなります。私どもの教育や学生支援の妥当性は、学生たちが本当に名古屋柳城女子大に来てよかったと卒業し、卒業後も学生生活を振り返ることができるかどうかにかかっています。完成年度を迎え、これまで以上に教職員ともに力を合わせ、身を引き締めて取り組んでまいりたいと思います。

(学部長 鬘櫛久美子)

名古屋柳城短期大学

|| 名古屋柳城短期大学

22・23年度の近況報告

2022年度3月の卒業式では、保育科98名、専攻科保育専攻13名、併

せて111名の学生を社会に送り出すことができました。その中で、保育職への就職内定率は99%に上っています。この結果は、2023年度で125周年を迎えた名古屋柳城短期大学の建学の精神「愛をもって仕える」を基盤とした保育者養成の実績が、広く保育界に認知されていることを示しています。

専攻科保育専攻は、2022年度で最後の卒業生を送り出したこととなります。1997の設置から25年にわたった、幼稚園教諭一種免許状の養成機関としての役割を終えました。専攻科保育専攻が担ってきた役割は、併設校である名古屋柳城女子大学が担うこととなります。一方、保育科では、18歳人口減少の状況を鑑み、130名定員を100名に減員しました。いずれも、厳しい時代を短期大学と併設の四大が共に生き抜くための戦略的改組転換です。

2023年度4月の入学式では、93名が短期大学の新柳城生となりました。2023年5月8日からは、新型コロナウイルス感染症5類移行を受け、授業実施等、原則コロナ以前の状況に戻すことができ、新入生が明るい兆しを運んでくれたように感じています。

コロナ禍で制約されていた短期大学の重要な役割である、地域社会と協働、社会的貢献活動においても、名古屋市昭和区社会福祉協議会などの関係団体と連携した子育てサロン「たんぽぽくらぶ」、名古屋市昭和生涯学習センターとの共催講座、大学の近隣地域における子育て支援の拠点化を目指し自由参加型の「すくすく広場」(現:

りゅうじょう広場)、多文化共生センターの連携事業など、積極的に計画・実施しています。

本年度6月10日には、125周年記念講演会として、中電ホールにて大日向雅美先生(恵泉女学園大学学長)が「保育に生きるとは」をテーマに講演され、全学生と教職員が共に、保育の在り方について学びました。

With コロナのこの時代に、学生の学びを保障し、さらに、社会に対する責務を担うため、地域とも連携を取りながら、前向きに教学に取り組んでいます。(学科長 若杉 雅夫)

図書館

名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学図書館では、今年度から学生向けPCの館内貸し出しが始まりました。これは、学生の論文作成・レポート作成を支援するためのサービスで、マイクロソフトのワード、エクセルほか通常の論文作成に必要なアプリは全て利用することができます。もちろんインターネットに接続可能です。

ゼミの授業の中で、図書館PCを借り出して卒業論文作成の指導を受けたこども学部4年生の吉村美悠さんと山本真以さんにお話をうかがいました。普段は自宅からノート型パソコンを持参している山本さんは、「学校のPCを利用することで荷物も減り、1人1台ずつPCを使うことができ、卒業論文の準備作業が進みます」と話していました。卒論で絵本の表現について取り組んでいる吉村さんは、「図書館内の資料や絵本を閲覧しながら



PCで文書作成ができるラーニングコモンズでの作業は、効率もよく集中できます」とのこと。

四大設置の際の図書館とラーニングコモンズの改修工事（論文作成等個人学習のための環境整備）に加え、今回のPC貸し出しサービスの導入により、図書館の学習環境はもう一段向上しました。

（図書館 村田 康常）

多文化共生センター

多文化共生センターからの報告

2022年度の多文化共生センターは、愛知県の「多文化子育てサロン」設置促進事業を受託し、柳城学院と相互連携協定を結んだ東郷町で日本人親子と外国人親子の交流、相互理解、子育て支援の場を提供しようと、本学の教員が講師となり、保育者をめざす学生とともに参加して、7回のイベント



を行いました。コロナ禍のため会場の定員を制限し、マスク着用や除菌を徹底しながら、様々な国の絵本・楽器・遊びをテーマにした活動や、日本語も母語も大事という、ことばを育てるお話もしました。

2023年度は東郷町と多文化共生センターが連携する形で「多文化子育てサロン」の活動を継続します。また、ブラジル・タイ・韓国・メキシコにルーツを持つ子どもが在園する附属聖マリアガレット幼稚園の園庭が開放される際には、外国語のチラシを作成し、学生・教員や通訳者が参加するなどして、多文化な教育環境を生かす工夫をしたいと思います。さらに、海外で働いている卒業生とオンラインでつないで、学生のキャリア教育に役立てることも考えています。

（センター長 松本 一子）

幼児教育研究所

地域のニーズを捉えつつ 柳城独自の交流を

幼児教育研究所の主な活動は、保育や子育てに関する地域との交流活動です。昭和区や社会福祉協議会、公立保育所との連携事業、教員による子育て講座や保育者研修、子育てサロンの開催など、取り組み内容は多岐にわたります。また、学内キッズルームでの子育て広場「すくすくタイム」に遊びに来る地域の親子さんは、キャンパス



に賑わいと微笑みを与えてくれます。様々な活動を行う中で、柳城が担う地域での役割は何か、何を強みとして活動すべきか、時には俯瞰で見つめ、地域のニーズを捉えなおしながら地域に寄り添った、柳城ならではの取り組みを模索したいと考えています。

（委員長 菊地 篤子）

キリスト教センター

相原太郎司祭と後藤香織司祭の両チャプレンを中心に大学礼拝（毎週水曜：16時30分から）を行っています。参加した学生は普段の慌ただしい学生生活とは異なるひとときを過ごせているようです。

毎週の大学礼拝のお手伝いをしてくれる学生宗教委員の活動も、ほぼコロナ禍前と同様に戻り、参加した学生や教職員を温かな挨拶で受付にて迎えてくれます。

また、礼拝奉仕者として聖書を読んだり、聖歌のアナウンスもしてくれます。

忙しい中から練習時間を見つけ、オルガン奏者として活躍してくれる学生もいます。

様々な学生の働きによって支えられている大学礼拝です。

キリスト教センターの一同お待ちしておりますので、機会がありましたらどうぞ大学礼拝にお越しください。

（キリスト教センター 高瀬 慎二）



チャプレンからのメッセージ



チャプレンの後藤香織です。チャプレンとは、聞き慣れない言葉かも知れませんが、学校や病院、刑務所などで働いている牧師のことをチャプレンと言います。わたしは名古屋柳城女子大学と名古屋柳城短期大学のチャプレンの他に、三好丘聖マーガレット幼稚園のチャプレンもしています。幼稚園の子どもたちとお祈りをするのは、様々な気づきを与えられる楽しい時間です。もう20年も昔になりますが、わたしは長野県上田市にある聖ミカエル保育園で、園長として働いていたこともありますので、子どもの保育に携わろうとしている皆さんの助けになるようなお話しも、して行ければと願っています。

それから名古屋拘置所の教誨師をしています。「教誨師」という言葉を、初めて聞いた人もいるかも知れませんが、刑務所や拘置所で、収容者の更正のために働いている宗教者を教誨師といいます。英語では「prison chaplain」と呼ばれますので、これも

prison chaplain

チャプレン 司祭 アンブロージア後藤 香織

チャプレンの働きの一つです。教誨師の働きについて、詳しくお話しをすることは出来ませんが、国連から死刑制度の廃止を勧告されながらも、未だに死刑制度を保持しているわたしたち野蛮な日本の状況について、正義と平和の視点から、皆さんと分かち合っ

ければと思っています。

わたしが具体的に、大学・短大の皆さんとお目にかかれるのは、チャペル（名古屋聖マタイ教会聖堂）での水曜礼拝の時間だけですが、皆さんの悩み事や心配事を聞くのもチャプレンの大切な仕事です。どうぞ、名古屋聖マタイ教会の牧師執務室を、お気軽にお訪ねください。なかでも、ジェンダーやセクシュアリティ、LGBTQ+についての講演やお話しを、わたしは他の大学や高校ではよくしていますし、皆さんの先輩たちからのセクシュアリティに関する相談にも乗ってききましたので、セクシュアリティに関する相談もどうぞ心配しないでご相談ください。待っています。



イエス様は、彼のもとに集まってきた人々に「あなたがたは地の塩である」、「あなたがたは世の光である」と語りました。ここで重要なのは「あなたがたは将来、地の塩、世の光になりなさい。いつか立派な行いができるような人になりなさい」とは語っていないということです。イエス様は端的に、あなたがたは今すでに地の塩なのだ、世の光なのだ、と断言しています。

当時、このイエス様の言葉を聞いていた人たちは、例えば、社会で大きな責任を担っている人とか、宗教指導者とか、学校で勉強したエリートとか、そういう人たちではありませんでした。むしろ、そこから最も

かけ離れた人たち、社会から差別され、疎外されていた人たち、貧しい人たちでした。イエス様は、そのような人たちの様子に心を痛み、あなたがたこそが、今、世の光なのだ、地の塩なのだ、と語られたのでした。

あなたがたこそ地の塩、あなたがたこそ世の光

チャプレン 司祭 ヨハネ相原 太郎

塩は人間の命に不可欠なものです。しかし、塩そのものが自己主張することはなく、単独で用いられることもありません。何か別のものを引き立たせるため、自分を溶かし込んでその味を整えます。私たちが地の塩であるとは、私たち自身が何か特別な存在となるのではなく、隣人が本来持っているもの

が引き出され、その人の固有の人生が大切にされ、人生が豊かなものとなること、そのようなことに仕える、ということです。

光もまた、光そのもののために輝くものではありません。何かを照らすために輝きます。世の光であるということは、自分を中心に分のためだけに生きるのではなく、他者を照らし出すものとして生きる、ということです。

私たちは、さまざまな弱さや欠けを持つ者です。イエス様は、そうした弱さや欠けを持つ一人ひとりの存在そのものが地の塩、世の光なのであり、神様から愛されている大切な存在であり、愛をもって仕えることのできる者に他ならないのだ、と語りかけておられます。

■ 教学事務室より

合同
ゼミナール

2023年4月21日、名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学では合同ゼミナール（夢ゼミ）を実施しました。合同ゼミナールの目的は「グループ活動を通して、人間関係を構築し、大学生としてのルールを学び、実社会のリーダーとして活躍できるスキルを身につけること」です。今年度は感染症対策を万全にし、本学体育館を主会場として、Centre KAPLA Tokyoの富安智子氏による“KAPLA®研修会”：「カプラアニメーション」を1日間の日程で実施しました。KAPLA®：「カプラ」は、21世紀の玩具と呼ばれている、積むだけでどんな形も作れる「造形ブロック」です。近年、多くの幼稚園、保育園、認定こども園でKAPLA®が導入されています。合同ゼミの目的に「カプラアニメーション」がピッタリはまります。そこで2年前に続いて今年度も導入しました。

附属豊田幼稚園などでも活用されてい



この写真は2年前の富安先生と助手さん2名が来学された時の舞台上の作品です。



脚立や跳び箱も総動員して高さにも挑戦するグループが多数ありました。

る「カプラ」…豊田幼稚園のブログにもレポートされていました！…子どもたちの主体性と創造性を引き出し、生きる力を育みます！

…とっても真剣に！…といっても楽しく！保育者の先生と一緒に、カプラで対話的に活動している写真もありました。必見です！



大学短大ともにグループそれぞれの工夫により、独創的で個性的なタワーや構造物が、多数生まれていました。

本学の体育館に富安先生をお招きしてのカプラアニメーションでは、今年度も最初の学生活動として、三密を避けながら大学と短大それぞれに、1・2年生の縦割りによるコミュニケーションワークとなりました。

保育の現場で役立つ造形遊びの教材として、カプラは学内のキッズルームに以前からありますが、そこだけでなく学内のあちこちでカプラを実践・体験・研修ができて、カプラのオリジナル作品を日常的に展示できる環境になると良いですよ！

（学生生活委員長 小野 隆）

特別給付
奨学金

特別給付奨学金奨励奨学生（前年度学年末GPA順位上位者）の表彰式を6月14日（水）に行いました。

奨学生のみなさんおめでとうございます。引き続き、学業に励んでください。

〈こども学科2年生（2022年生）〉

- 間野 爽萌さん ● 松崎 早恵さん
- 嶋 美佑さん

〈こども学科3年生（2021年生）〉

- 芳田有未衣さん ● 梅澤 久実さん
- 石田 朋花さん

〈こども学科4年生（2020年生）〉

- 高木 靖世さん ● 秦野真利亜さん
- 吉村 美悠さん

〈保育科2年生（2022年生）〉

- 鈴木彩友美さん ● 奥村 朱里さん
- 安本 凜さん ● 渡邊 彩里さん
- 板垣 春那さん ● 伊藤 花日さん
- 太田愛結花さん ● 緒方 七美さん
- 永井 花凜さん ● 青山 心優さん

柳城祭

2022年度の柳城祭は3年ぶりの対面開催が叶いました。感染症への対策と11月半ばに控える実習を鑑み、日程を10月半ばへと変更し、人と人の距離が近くなりそうな体育館プログラム（舞台発表、菓子まき、バランスボール体験など）の参加は学内者のみに限定、一般公開は午後から（12:00～15:00）にして中庭と2号館を中心に会場を設けました。

ゼミやサークル、有志グループによる各種模擬店やワークショップ、パネルシアターや合唱の披露、後援会の企画した緑日風の遊び



場、授業成果発表や恩物の展示、芝生での水風船釣りや段ボールハウスの色塗りあそび…など、どの企画も大盛況で、今年度初の試みとしてお呼びした移動動物園や有機野菜のマルシェ、ジャンベコンサートやキッチンカーも大変好評でした。

当日は天気にも恵まれ、600名を超える来場者が思い思いの場所で楽しく穏やか

な時間を堪能されていたように思います。呼び込みをする学生の弾んだ声、のんびりと芝生を散歩するポニーやリクガメ、屋上から降ってくる七色のシャボン玉、力強い太鼓のリズム、水風船を片手にはしゃぐ子どもたちの姿とそれを見守るたくさんの笑顔…。初めてだらけの企画に、準備も片付けもとても大変でしたが、学生たちや保護

者の皆さんとコミュニケーションを図りながら、本学を地域に開いてイベントを開催できる喜びは格別でした。

今年度も既に準備が始まっています。23年度の柳城祭にもご期待ください。

（学生生活委員 豊田 明子）

■ アドミッションセンターより

2023 年度入試結果

2023 年度入学者につきましては、名古屋柳城女子大学こども学部こども学科が 58 名、3 年次編入生 1 名、名古屋柳城短期大学保育科が 93 名となりました。

昨年度と比較すると大学は 12 名増加しましたが、短大は 6 名減となっています。大学（定員 70 名）、短大（定員 100 名）とも定員には満たず、厳しい結果となりました。

要因として、少子化、保育・幼児教

育志望の生徒の減少など、厳しい外部環境があります。今後は、柳城の魅力を知ってもらった効果的な広報活動を行い、学院一体となって広報戦略を立案しての改革を進めています。

保育職の魅力も発信しつつ、高校生に柳城の教育を共感してもらえる広報を積極的に行い、入学生の確保に努めていきます。

柳城は今年度学院創立 125 周年を迎えました。これまで柳城に関わって

こられました皆様が築き、育ててこられた柳城の歴史と伝統を守りつつ、更に発展させていく所存です。

卒業生の皆様へのお願いです。毎年入学生から、本学卒業生の方に、「保育職に就きたいなら柳城がお勧めだよ！」と柳城を勧められて受験したという話を耳にします。身近に保育・幼児教育への進学を希望される方がいらっしゃいましたら、本学への受験をお勧めいただければ幸いです。卒業生の皆様のサポートを何とぞよろしくお願いたします。

2024 年度入試概要

入学学生の安定的な獲得に向けて、今年度より「入試広報部」から「アドミッションセンター」と名称を変更して、より受験生に寄り添った広報活動を強化してまいります。理事会、教職員一体で入試改革を進めてまいります。

卒業生の皆様に関わる 2024 年度入試からの最大の変更点として、**本学を卒業された方（在学中の方も含みます）のお子様、お孫様、兄弟姉妹の方は、どの種別の入試でも合格された際は入学金 24 万円を免除することいたしました。**

手続きについては、出願の際、入試種別ごとに必要な出願書類とともに、入学金免除申請書と当該対象者の卒業証明書もしくは在学証明書をあわせてご送付ください。なお、入学金免除申請書の様式は、ホームページの Web 出願サイトよりダウンロード願います。証明書の請求については、本学 Web サイト“卒業生の方へ”をご確認ください。

総合型選抜入試

総合型選抜入試をステップアップ型入試としてリニューアルいたします

た。年明けまで 5 期に渡って実施いたします。さらに今年度からは、第 1 期入試を 8 月上旬に 1 次選考を行うこととして、早めの進路決定を望む受

験生に対応をいたします。

保育者を目指し、柳城での学びに積極的な方であれば、出願資格において成績・欠席日数を問いません。選考については、一次選考として、事前提出のエントリーシートに基づくプレゼンテーション・面接を行い、出願を認め

試験区分	募集人員大	募集人員大	出願期間 (すべて必着)	試験日	合否発表日 (発送日は前日)	手続き期間
総合型選抜	35	25	9/1 ☑～9/15 ☑	ステップアップ型 A 入試	11/1 ☑	11/1 ☑～11/10 ☑
				ステップアップ型 I 入試		
			9/18 ☑～10/2 ☑	ステップアップ型 B 入試	11/1 ☑	11/1 ☑～11/10 ☑
				ステップアップ型 II 入試		
			10/9 ☑～10/16 ☑	ステップアップ型 C 入試	11/1 ☑	11/1 ☑～11/10 ☑
				ステップアップ型 III 入試		
			10/2 ☑～10/9 ☑	ピアノチャレンジ型入試	11/1 ☑	11/1 ☑～11/18 ☑
				自己表現/保育実技プレゼン型入試		
			2/12 ☑～2/16 ☑	自己表現/保育実技プレゼン型入試	2/28 ☑	2/28 ☑～3/21 ☑
				ステップアップ型 D 入試		
2/26 ☑～3/1 ☑	ステップアップ型 E 入試	3/13 ☑	3/13 ☑～3/21 ☑			
	ステップアップ型 V 入試					
学校推薦型選抜	55	35	10/30 ☑～11/9 ☑	指定校推薦入試	12/1 ☑	12/1 ☑～12/8 ☑
				指定校推薦入試		
			11/6 ☑～11/16 ☑	推薦 A 入試	12/5 ☑	12/5 ☑～12/15 ☑
				推薦 I 入試		
			11/6 ☑～11/23 ☑	推薦 B 入試	12/7 ☑	12/7 ☑～12/22 ☑
推薦 II 入試						
特別推薦	3	3	11/6 ☑～11/16 ☑	柳城ファミリー入試(既卒者)	12/5 ☑	12/5 ☑～12/15 ☑
				キリスト教会推薦入試		
				園長推薦入試		
一般選抜	若干名	若干名	1/8 ☑～1/19 ☑	社会人入試	2/1 ☑	2/1 ☑～2/16 ☑
				海外帰国生徒入試		
				社会人入試		
一般選抜	3	4	1/8 ☑～1/19 ☑	A 入試(2科目入試)1日目 (特別奨学生入試)	2/1 ☑	2/1 ☑～2/16 ☑
				I 入試(2科目入試)1日目 (特別奨学生入試)		
				特別奨学生チャレンジ試験		
			1/8 ☑～1/19 ☑	A 入試(2科目入試)2日目 (特別奨学生入試)	2/1 ☑	2/1 ☑～2/16 ☑
				特別奨学生チャレンジ試験		
				I 入試(2科目入試)2日目 (特別奨学生入試)		
1	1	2/26 ☑～3/1 ☑	B 入試(1科目入試)	3/13 ☑	3/13 ☑～3/21 ☑	
			II 入試(1科目入試)			
2	2	1/8 ☑～2/2 ☑	大学入学共通テスト利用 A 入試	2/15 ☑	2/15 ☑～2/22 ☑	
			大学入学共通テスト利用 I 入試			
1	1	2/12 ☑～2/23 ☑	大学入学共通テスト利用 B 入試	3/6 ☑	3/6 ☑～3/21 ☑	
			大学入学共通テスト利用 II 入試			

られた方については、保育に関する課題作文の提出をもって書類選考を行い、合否判定いたします。

学校推薦型選抜入試等

指定校推薦入試、公募制推薦入試等の年内入試においては、出願書類に課題作文を新たに含めます。試験内容は提出された課題作文を基にした質疑応答と面接で合否判定を行います。

特別推薦入試

柳城独自の入試として園長推薦入試があります。幼稚園、保育所、施設など保育現場の園長先生に高校生を柳城に推薦していただく入試制度です。

園、施設などにボランティア等で日頃から関わりのある高校生の方で保育者養成校への進学を希望される方がいらっしゃいましたら、お勧めいただければ幸いです。なお、こちらの入試で合格された方は、入学金が半額減免となります（24万円が12万円となります）。

一般選抜入試・特別奨学生選抜試験及び特別奨学生チャレンジ試験

一般選抜入試については、大学、短大とも「特別奨学生選抜試験」も兼ねて実施しております。この制度は、試験結果により成績優秀者を特別奨学生A、特別奨学生B、特別奨学生Cとして、以下の優遇措置をいたします。また、年内に行われる入試（総合型選抜、学校推薦型選抜、特別推薦）で合格し、入学手続きを完了している方（希望者）にも特別奨学生チャレンジ試験として受験していただき、成績優秀者には同様の優遇措置が受けられます。

〈特別奨学生 A〉

- 入学金全額免除
- 授業料初年度半額減免
- ※ 2年次以降は成績等により継続可否を決定

〈特別奨学生 B〉

- 入学金半額減免
- 授業料初年度4分の1減免
- ※ 2年次以降は成績等により継続可否を決定

〈特別奨学生 C〉

- 入学金全額免除

大学入学共通テスト利用入試

昨年度入試より大学入試センターの大学入学共通テストに参加しています。2月、3月に各1回大学共通テスト利用入試を行っています。一人でも多くの受験者が得られるようにPRに努めてまいります。

以上、本学入試の詳細は2024年度入試ガイド及び入試情報ページでご確認ください。なお、大学案内、入試ガイドは本学Webサイトより請求できます。

アドミッションセンターでは、入試に関するご相談やお問い合わせをお受けしております。お気軽にお電話ください。

アドミッションセンター

電話：052-848-8281（直通）
e-mail：kouhou@ryujo.ac.jp

2023年度りゅうじょうオープンキャンパスの開催について

2023年度のオープンキャンパスが始まっています。開催日時は以下のとおりです。大学、短大紹介、入試説明、柳城生のライブトーク、授業体験、キャンパスツアー、保育ワークショップ、就職情報展示会、保護者説明会、入試個別相談会、ピアノ相談会などなど、たくさんのプログラムを用意しています。身近に保育職を希望する、あるいは興味関心のある高校生の方がいらっしゃいましたら是非参加をお勧めいただくと幸いです。

事前予約申込制で開催します。
詳細は本学Webサイトをご覧ください。

今後の開催期日

- 9/10 ㊦
- 10/14 ㊦ *柳城祭と同時開催
- 12/10 ㊦ 一般選抜対策講座
- 12/16 ㊦ クリスマスオープンキャンパス



2022年度 就職状況

2022年度は保育科、専攻科保育専攻の2学科合わせて111名が卒業・修了しました。その内108名が就職を希望し、全員が就職をすることができました。この4月より、保育等の世界で社会人として羽ばたいています

就職先の種別を見ていくと、保育職が全体の95.4%を占めました。そのほとんどが正規職員として採用されました。

ただ、学生時代はまだコロナ禍で、現場実習の機会が少なかった学生もあり、不安を抱えたままでの就職活動となりました。そのような中でも学生は保育者になる夢を叶えるため、説明会や園見学に足を運び、就職活動に取り組みました。今後保育者として、それぞれの職場で充実した人生を歩んでもらえることを祈念しています。卒業生の方が笑顔で輝いている姿を見ることが、就職課職員の何よりの励みです。

また、2022年度も昨年度に続き、保育の求人数を数多く（幼稚園・保育園・こども園の求人数1,125件）いただく

2023年3月31日現在

	卒業者数 (人)	就職希望者 (人)	就職率 (%)	進学者 (人)	就職希望なし (人)
保育科	98	95	100	1	2
専攻科保育専攻	13	13	100	0	0
計	111	108	100	1	2

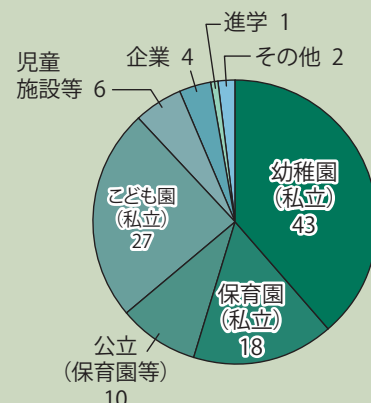
ことができました。保育現場からの柳城への信頼と、更なる期待を感じずにはられません。

今後も卒業された諸先輩方が長年をかけて築かれた良き伝統と実績に感謝しつつ、それをしっかりと守っていくための努力を続けて参ります。そして、学生一人ひとりが満足度の高い就職ができることを目指して、教職員全体でより強固な連携を図り、学生に対するきめ細やかな指導、支援を行っていききたいと思います。（就職課）



◀ 就職課のInstagramです。卒業生の方もぜひ見てみてください！

2022年度卒業生 111人



同窓会 (のぞみの会) より

「愛と尊敬と信頼」

皆さま、お変わりはありませんか。コロナとの関わり方も随分変化して、元通りになったこと、変わったこと、より進化したこと等、様々ですね。一方で未だ後遺症に苦しんでいる方もいらっしゃいます。一日も早く皆さまの心に平和が戻りますように願ってやみません。

実は私は、劇団に所属して演劇活動を行っております。今年の春に座長として、活動方針「愛と尊敬と信頼」を掲げました。大学生から70代までの他人同士がひとつの芝居を作り上げていくには不可欠な、大切なことと思い(クサいとは思いましたが)あえて言葉にしました。

若い人には経験が足りず、年齢を重ねた人には体力や記憶力に衰えが。年齢的なことばかりでなく、得意なことも社会的な立場も生活様式も全て違う者同士がお互いに認め補い合わなければ、良い作品は生まれません。演劇は各々で演じるものではなく、相手に台詞を渡す事の繰り返しで成り立つものだからです。

これはどんな人間関係にも言えることではないでしょうか。会社でも幼稚園・保育園でも。たとえ相手が幼児でも「お

世話をしてあげる」のではなく、愛を持ち尊敬と信頼の心で接する時にこそ相手の心とつながることができるのだと思います。そしてその先に「愛と尊敬と信頼」にあふれた平和な世界を夢見ています。

(同窓会長 鎮旗 真弓)



後援会より

日頃は後援会の活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。徐々にコロナ前に戻っていく中で本年度、後援会の皆様と一緒に学生達の為に頑張りますので、ご協力をお願いいたします。

私は柳城でその昔、保育を学びました。そして、娘がここで学ぶ事を決めて入学した為、当時から変わらない校舎や新しくできた校舎へ出向いたり先生や職員の方々と再会したり、娘から学校生活や実習の話などを聞いて懐かしさを感じさせてもらっています。

娘が入学した頃はまだマスク必須で、先生方が試行錯誤してくださり、遠隔授業など取り入れながら学びの場を過ごしていましたが、やっと今は仲間との時間をリアルで共有したり、実習を行い通常に近い学生生活を送る事ができるようになりました。ここ数年リモートだった柳城祭も、昨年は感染対策の為、制限の中ではありますが、

リアル開催ができ、後援会としても緑日コーナーを開催する事ができました！とは言え、昔と同じ様にはとはいえませんが、学生達がこの時代の中でもイキイキと学び、楽しんで「ここにきてよかったな」と思えるよう微力ですが、私達も楽しみながら努めてまいりますので、どうぞよろしく申し上げます。

(後援会長 山本 里絵)

2023年度 後援会役員 (敬称略・順不同)

役職名	氏名
1 会長	山本 里絵
2 副会長	伊藤 奈美
3 会計監査	山田 やつか
4 会計監査	小林 笑子
5 委員	渡邊 陽子
6 委員	土屋絵里奈
7 委員	久野 有香
8 委員	鈴木恵美子
9 委員	大久保夕紀子
10 委員	三浦 由美
11 委員	日坂 千代
12 委員	松下 幸子
13 委員	河合真由美
14 委員	寺野 幸子
15 委員	土屋真理子
16 委員	橋本 直子
17 委員	羽場 智子
18 委員	伊藤 りか

■ 名古屋柳城短期大学 附属幼稚園より

柳城幼稚園より



2023年度が開け、まもなく3か月。園児数は5月1日現在で100名となりましたが、引越しに伴う入退園が続いています。今年度は満三歳児の入園がここ数年になく出足が鈍く、一学期には5名前後にまでしかならない状況です。

さらには二歳児教室の例年続いていた空き待ち状態がなくいつでも受け入れ可能です。この現象はたまたまなのか、当園にも少子化の波が押し寄せつつあるのか心配しています。

それでも園見学にいらっしゃる方々は、当園の遊びから学ぶ保育を望まれ、保育者の対応に手厚さを求められています。幸い今年度は各クラスに担任2名を配置しさらに経験豊かな非常勤の先生方を配置でき充足しています。

それは子どもたちにとっても安心して過ごせる環境で、4月当初不安で泣いていた子どもたちに丁寧に寄り添えたことにより、いつまでも泣き続けることなく早々に落ち着くことができました。先生たちが体調を崩したりして休むことによる大きな負担もかかることなく皆が安心してお互いを思いやりながら過ごせています。

園内環境にも着手し、昨年度夏には

非接触型自動水洗の手洗いとし、感染予防にも一役買いました。さらに今年度夏にはようやく2階トイレの改修も予定され、子どもたちの生活環境が整いつつあります。また、防犯システムも特別補助金や保護者会からの寄付金等を利用しつつ、防犯カメラや電磁ロックの設置を検討しています。

コロナが5類相当へと移行し、子どもたちの園生活もようやく平常へと戻りつつあります。今年度はここ最近控えてきた活動を今改めて内容の検討を行っていきたいと思っています。しばらく控えていたクッキングを行ってみたり楽しい園生活を過ごせるようにしたいと思っています。



昨年度より導入しているメール配信アプリは、今までの紙媒体での手紙より、タイムリーに細やかに保護者への連絡が出来るという事でよく活用されています。これは、職員の業務の軽減にもつながっています。園での様子をごとあるごとに伝えられることは我が子がどうやって過ごしているのかと心配な保護者への情報を提供していくことも今はとても大切な仕事です。

保育者の仕事が大変であるのになかなか報われないとのことから保育者のなり手が減少し続けています。他の保育者養成校も定員割れが続く中、柳城学院でも厳しい状況が続いているところですが、附属園があることの利点を大いにアピールし、子どもたちと関わることの喜びを感じながら学べる環境に附属園として協力していきたいと



思っています。子どもたちは実習生など学生が園を訪れることをとても喜んでいますが、昨年度夏より当園には近隣の養成校からも学生が授業の終わったところで預かり保育に携わってくれて子どもたちは大好きな先生たちを今か今かと待っていて、取り囲むように寄っていき甘えて過ごしています。通常保育を終えた子どもたちがリラックスして過ごす場にとっても有難いと思っています。保育者を目指す学生が、その夢を実現するべく学びの場として大いに活用していただけたらと思っています。



また、隣接のマルコ教会聖堂が只今耐震工事中です。昨年度より降ってわいたようなこの問題にいろいろ苦慮しましたが、この秋にはそのめどがたち、子どもたちの祈りの場として、キリスト教保育の大切な場としてまた使わせていただけることを待ち望んでいます。昨年度やむなく遊戯室で行ったクリスマスペイジェントも、この冬にはまた聖堂にて行えることを楽しみに今は無事工事が終わることを祈っています。今年度よりチャプレンとしてお働きいただいている丁司祭はとても穏やかで優しく既に子どもたちに大人気です。神様から守られているこの柳城幼稚園の保育がこれからも神様のみこころにかなうものとして進められますように。(園長 織田 純代)

豊田幼稚園より



鞍ヶ池公園や豊田市自然観察の森、豊田スタジアムなど、魅力いっぱいの施設が歩いていけるところにたくさんある豊田幼稚園。

豊田幼稚園出身の保護者も多く、地域から愛され、信頼される歴史と伝統のある幼稚園です。幼保連携型認定こども園として5年目を迎えました。

地域に根ざすこども園に



0歳児から5歳児まで140名を超える天使たちは、50人近いスタッフに支えられ、明るく楽しくのびのびと園生活を送っています。

園児のほとんどが、近くに住んでいます。約半数が隣接する市木小学校へ、それ以外も近隣の小学校へ進む子が多く、卒園したあとも園で行われる体操教室や英語教室に参加するなど、地域に根ざす「子育て支援センター」としての役割も果たしています。

ハイハイができるようになったばかりのゼロ歳児、まわりにはお構いなしで、自分の世界で動き回る1歳児、



それなりに先輩に見えてくる2歳児。日に日に成長する姿を目の当たりにしています。その姿はまさに天使そのものです。

大学・短大との連携



豊田幼稚園では、附属幼稚園の特性を生かし、大学や短大との連携を随時行うことができます。学生のうちから、教育実習だけでなく、いろいろな場面で、園児とともに活動する機会を設け、保育者としての楽しさ・喜び・大変さを味わうことができます。コロナの関係で、外部の人の立ち入りを制限せざるを得ない状況が続いていましたが、最近は幼稚園を訪問してくる学生が増えています。

今年度も6月には「保育基礎演習 園見学実習」も実施され、3回のべ30名以上の学生さんが園を訪れました。

高中小との連携



「保育者」をめざす高等学校との連携も強めています。保育コースがある豊田東高校、松平高校に園児を園バスで連れていき、保育コースの高校生と交流を深めるプログラムを行っています。また、柳城学院との連携校である豊田大谷高校と新たに連携を結んだ杜若高校のインターンシップも実施予定です。

中学生の職場体験も積極的に受け入れられています。こうした経験を通して「保

育のお仕事」の楽しさ、すばらしさを味わってもらえればと考えています。

隣接する市木小学校とは、毎年子どもたちの交流だけでなく、施設や備品などについても、相互利用の便宜を図るようにしています。小学校の広い運動場をお借りして、正月の凧あげをして園児が走り回ることもあります。

保護者の会と大学のコラボ



昨年からは保護者の会主催で園の休日を利用して「こども祭り」を行っています。昨年は、大学の小野隆先生と学生のみなさんの協力を仰ぎ、「忍者あそび」をしました。今年も9月24日に大学のみなさんとコラボして実施する予定です。

働きがいのある職場



今年も、3名の柳城生を含め、4名の新規採用者を迎えることができました。また、正規職員とは別に、短時間勤務の特別任用教員を新たに4名採用、毎日出勤するパート職員も大幅に増え、充実した職員構成になっています。

子どもたちの笑顔のためには、働いている教職員の笑顔は欠かせません。

私たちは

- ・子どもが通いたい園
- ・親が通わせたい園
- ・教職員が長く働きたい園

をめざします。

(園長 澤田二三夫)



大好きな園庭に『おはならんど』が できました♪

園庭の一角に、桜の他に、みかん、むくげ、ビックリグミの木があったり、シロツメクサやミニバラなどのお花が育っている場所があり、その場所を年長組さんが命名してくれました。その名も「おはならんど」。

朝や午後の自由遊びの時間に、先生と一緒にであれば限定5人のお友だちが入って遊ぶことができる場所になりました。落ちてしまったむくげのお花を大切に拾う子や、シロツメクサの四葉を探す子など、思い思いの遊びをじっくり楽しむ姿が見られます。



暑い時期には木陰になっていて避暑地にもなり楽しく過ごせそうです。新たに小さなみかんの苗木も植えて大切に育てています。これからもっといろんなお花を植えていこうと計画中です。

キリスト教保育での自然や命を大切にしながら、みんなで季節の移ろいや自然、虫などの発見を子どもたちと楽しみながら過ごしていきたいと思っています。

園庭開放

7月1日(土)の園庭開放日には短大の学生さんと先生方が来てくださり、外国語の絵本の読み聞かせや遊



び、日本の遊びを紹介してくださいました。

この日は園の保護者の役員さんが、同時にミニバザーも開催して、120人を超える方々が来てくださいました。未就園児や在園児、卒園児も遊びに来てくれて楽しんでいました。毎月ではありませんが、月初めの土曜日に園内や園庭で遊べる機会を作っています。

夏野菜の収穫



実はマーガレット幼稚園には、食べられる野菜や果物がとってもたくさんあります。びわ、びっくりぐみ、ぶどう、いちご、アスパラ、プチトマト、きゅうり、とうもろこし…と、たくさん季節の実があり、収穫して子ども達で食べています。4、5月は毎日いちご狩りをして食べていました。毎日水やりをしながら園庭のごちそうを狙っている子どもたち。「先生、今日はグミある？」と、毎日毎日木を見に行く子どもいるほどでした。年少組さんでは初



夏野菜の成長が、楽しみです。

めて育てたきゅうりを1本収穫して、みんなで分け合って給食の時にいただきました。おいしかったー！とどの子どもも喜んで食べていました。

園ではICT化が進みました！

時代の流れが急激に変化し、前年度の9月から、保護者への手紙や電話連絡などをICT化し、仕事のスリム化が進みました。先生たちの仕事の軽減、と共に、紙代や印刷代等の経費削減にもつながりました。年度途中ということもあって、なかなか設定がうまくいかないことも予想され、試行錯誤の日々でしたが、保護者の皆様のご協力のもと、全園児がアプリでやり取りできるようになりました。

毎日の欠席連絡に加え、毎月の園だよりや、カリキュラムも配信になり、今ではプールカードも毎日〇×をチェックしていたのもアプリで出来るようになり、ご家庭への連絡がとてもスムーズにできるようになりました。

毎日投稿ではないですが、4月からはマーガレット幼稚園のインスタグラムも始めました。時代の流れに追いつけるように、そしてより多くの人にマーガレット幼稚園の保育や様子を見ていただけたらと願っています。

(主任補佐 北野 明子)



マーガレット幼稚園 HP
インスタグラム

2022年度 会計報告

資金収支状況

(単位：千円)

科 目		2021年	2022年
収入の部	学生生徒等納付金収入	416,952	445,871
	手数料収入	6,292	6,193
	寄付金収入	5,523	7,482
	補助金収入	398,484	370,690
	資産売却収入	250	0
	付随事業・収益事業収入	31,776	31,814
	受取利息・配当金収入	6	5
	雑収入	16,219	9,000
	借入金等収入	0	0
	前受金収入	35,810	32,440
	その他の収入	27,968	40,892
	資金収入調整勘定	△ 76,362	△ 64,554
	前年度繰越支払資金	555,937	455,500
	収入の部合計	1,418,859	1,335,337
支出の部	人件費支出	686,894	654,510
	教育研究経費支出	141,167	151,759
	管理経費支出	86,528	85,364
	借入金等利息支出	1,025	966
	借入金等返済支出	13,056	13,056
	施設関係支出	14,681	4,675
	設備関係支出	20,152	29,017
	資産運用支出	1,200	1,200
	その他の支出	24,868	27,523
	資金支出調整勘定	△ 26,216	△ 47,061
	翌年度繰越支払資金	455,500	414,325
	支出の部合計	1,418,859	1,335,337

[2021年度決算状況]

1. 収支の状況

4年制大学開学3年目で、短大に於いても学生獲得に苦戦した。2022年度の事業活動収入は、872,209千円、事業活動支出1,031,925千円、基本金組入前当年度収支差額では△159,716千円となった。活動区分による教育活動資金収支差額は△25,707千円、事業活動による教育活動収支差額は△171,292千円と依然大きくマイナスとなった。学生及び園児数の減少他、4年制大学に加え附属幼稚園に於いても人件費をはじめとする経費の増加、加えてコロナ禍対応での業務縮小による収入減に起因する。しかし、附属幼稚園を除く部門での賞与率の据え置き、附属幼稚園に於いて補助金増加により厳しいながらも資金収支による繰越支払資金は414,325千円で、前年比41,174千円の減少にとどまった。

2. 貸借対照表

総資産額は3,496,424千円となり前年対比154,840千円減少した。固定負債は、附属豊田幼稚園園舎改築資金借入金194,752千円を含め352,712千円、流動負債は、89,483千円で前年度比4,053千円増加した。

[学院：事業活動収支差額の経年変化]

■事業活動収入

学生生徒等納付金、補助金などの学校法人の負債とならない収入

■事業活動支出

人件費、消耗品費、光熱水費などの消費する支出及び資産の消費額

■基本金組入前当年度収支差額

事業活動収入 - 事業活動支出

■事業活動収支差額比率

基本金組入前当年度収支差額 ÷ 事業活動収入。率が高いほど自己資本が充実していることを示す。少なくとも、10%以上が望ましい。

※2015年度より学校会計基準が改正となり、帰属収入→事業活動収入、消費支出→事業活動支出と名称変更となりました。

事業活動収支状況

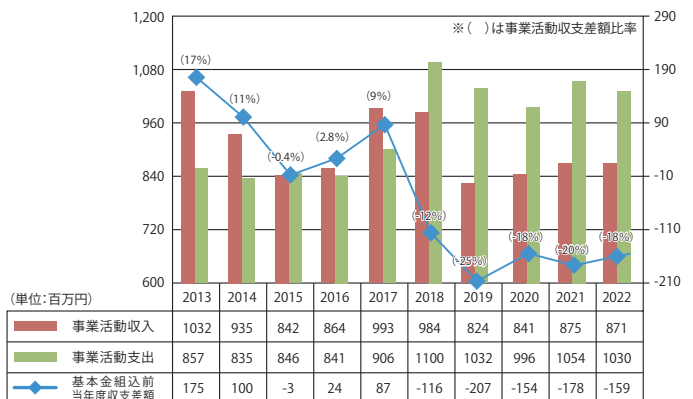
(単位：千円)

科 目		2021年	2022年
教育活動収入	学生生徒等納付金	416,952	445,871
	手数料	6,292	6,193
	寄付金	5,730	6,403
	経常費等補助金	385,678	359,621
	付随事業収入	31,776	31,814
	雑収入	16,219	9,000
	教育活動収入計	862,650	858,905
	事業活動支出	688,383	655,675
	教育研究経費	270,400	281,976
	管理経費	93,752	92,545
徴収不能額等	0	0	
教育活動支出計	1,052,536	1,030,197	
教育活動外収入	受取利息・配当金	6	5
	その他の教育活動外収入	0	0
	教育活動外収入計	6	5
事業活動外支出	借入金等利息	1,025	966
	その他の教育活動外支出計	0	0
	教育活動外支出計	1,025	966
特別収入	資産売却差額	249	0
	その他の特別収入	13,701	13,298
	特別収入計	13,951	13,298
	資産処分差額	1,513	761
特別支出	その他の特別支出	0	0
	特別支出計	1,513	761
	基本金組入前当年度収支差額	△ 178,467	△ 159,716
	基本金組入額合計	△ 33,423	△ 19,525
当年度収支差額	△ 211,890	△ 179,242	
前年度繰越収支差額	△ 1,290,530	△ 1,495,940	
基本金取崩額	6,481	1,247	
翌年度繰越収支差額	△ 1,495,940	△ 1,673,934	

貸借対照表の推移

(単位：千円)

科 目		2021年	2022年
資産の部	固定資産	3,155,868	3,052,462
	流動資産	495,396	443,962
	(内、預金)	455,500	414,325
	資産の部 合計	3,651,265	3,496,424
負債の部	固定負債	351,889	352,712
	(内、借入金)	207,808	194,752
	流動負債	85,430	89,483
	負債の部 合計	437,319	442,195
基本金の部合計	4,709,886	4,728,164	
翌年度繰越収支差額	△ 1,495,940	△ 1,673,934	
負債及び純資産の部合計	3,651,265	3,496,424	



■ 新任教職員

名古屋柳城女子大学

名古屋柳城女子大学

鈴木 裕子

再びのご縁をいただき、名古屋柳城女子大学の一員に加えていただきました。2012年まで非常勤時代を含めた17年間を名古屋柳城短期大学で、その後、現在までの12年間を愛知教育大学にて、保育者養成と幼児教育研究にかかわってまいりました。この度、大学設置基準の改正により新たに設けられた「基幹教員」制度により、再び、柳城にて保育界の前進に努める機会をいただき幸運に恵まれました。勝手に名付けた「私の運命」に感謝し、人びとと共に生き、人びとに仕える精神に添い務めさせていただく所存です。



名古屋柳城女子大学

服部 裕子

4月から名古屋柳城女子大学の教員としてお世話になります。どうぞ、よろしく願いいたします。

かつて、この大学キャンパス内には附属幼稚園がございました。そこに妹や弟が通園しておりまして、わたくしも教会の日曜学校に通っておりました。今再び、昔のままの教会の姿を拝見したとき、胸がいっぱいになりました。担当する「保育内容指導演・言葉」では、大好きな絵本や人形劇を紹介したいと思います。



名古屋柳城短期大学

名古屋柳城短期大学

富貴田 智子

この4月から名古屋柳城短期大学の教員となりました。私は、私立幼稚園で10数年保育をしておりますが、ある子どもとの出会いをきっかけに、再び大学・大学院に進み発達心理学を学びました。専門性を生かしながら再び幼稚園で保育者指導をする中で保育者養成への意欲がわき、この仕事に携わるようになって11年目を迎えます。子ども同様、大学生の成長発達にも喜びを感じることができる毎日であるよう、努めていきたいと思っています。



附属幼稚園

柳城幼稚園 教諭

荒井 優希

今年の春から柳城幼稚園の職員となりました。柳城短期大学では愛をもって仕えよを胸に2年間過ごしました。入学した頃はコロナ禍だったこともあり実習がなくなったり授業がオンラインだったり不安なこともありましたが先生方が小さな悩みにも丁寧に寄り添ってくださり、安心して短大を卒業することができました。その経験を踏まえ、私も子ども達を見守る中で様々な気持ちに寄り添える保育者を目指し、日々頑張りたいです。



豊田幼稚園 保育教諭

青木 円花

今年の春、柳城短期大学専攻科を卒業し、豊田幼稚園で働いています。毎日可愛い子どもたちと素敵な先生方と一緒に過ごしています。

働き始めてから実感したことは、保育学生の時に現場の経験をたくさん積んでおいた方が良いということです。いくらたくさん経験していても日々の保育は新しいことだらけですが、今までの経験が少しは自分の自信に繋がります。これからも、少しの自信を持って目の前にいる子どもたちと向き合って成長していきます。



豊田幼稚園 保育教諭

阿部 百世

出産育児で2年ほど保育から離れていましたが、ご縁があり豊田幼稚園で働かせていただくことになりました。毎日子どもたちの近くで成長を見守ることができる喜びを再び感じ取ることができ、保育の仕事にやりがいを感じています。年少の息子がいるので育児で学んだことを保育に生かしたり、保護者に寄り添ったりと、子育て真っ最中の自分を強みにして頑張っていきたいと思えます。大好きな子どもたち、先生方と一緒に毎日楽しく笑顔で過ごしていけたらと思います。



豊田幼稚園 保育教諭

新井 愛唯

今年度より豊田幼稚園で働かせていただいております。豊田幼稚園では、本当に多くの事を学ばせていただく毎日です。素敵で経験豊富な先生方に保育を学ばせていただく中で、子どもたちと真剣に向き合い、大好きな子どもたちが笑顔で楽しく過ごせる、そんな保育を大切にしていきたいです。一緒に入った先生方と日々切磋琢磨しながら、成長していきたいと思えます。よろしく願いいたします。



豊田幼稚園 保育教諭 太田 かつお

妊娠・出産で現場を離れていましたが、縁あってまた豊田幼稚園でお仕事させていただくことになりました。4人の子育てを通して学んだこと、親の立場になって気付けたことも沢山あります。ブランクが長く不安もありますが、その経験を活かし、保護者の方の気持ちや悩みにも寄り添い、子どもたちが「ホっとする」第二の家庭のような安心できる場を作っていきたいと思えます。よろしく願いいたします。



豊田幼稚園 保育教諭

太田 直子

キリスト教保育は、温かい保育だと思えます。温かい雰囲気の中で、子どもたちの気持ちに寄り添い、1人1人を大切に過ごしたいです。

私には、2人の娘がおります。子育ては、成長時期により、手をかける、目をかける、心をかける、と子どもとの距離が変わっていくと改めて感じている今日この頃です。こうした子育てで経験、福祉協議会支援員や託児所経験を活かしながら、保育していきたいと思えます。



豊田幼稚園 保育教諭

倉岡 蘭奈

今年度より豊田幼稚園で働かせていただいております。かわいい子どもたちと経験豊富な先生方と一緒に過ごし、たくさん学んでいます。大変なことも多くありますが、子どもたちが笑顔で毎日楽しいと思えるような保育をしていきたいと思えます。子どもたちの成長と共に私も成長していきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。



豊田幼稚園 主任

原田 優子

ご縁をいただいて再び柳城の仲間入りをさせていただきました。学生の頃学んだ柳城短期大学、そして以前、共に働いた先生方がどの附属園にもみえ、とても心強く安心します。柳城チームとして力を合わせていきたいと思えます。

私自身は、多くの方から学び、支えられている感謝の毎日です。そして、保育では子どもたちの成長を保育者同士で伝え合い、喜び合う日々を送っています。子ども一人一人の気持ちに寄り添い、保護者の方と連携を取りながら子どもたちにとってより良い環境を作っていきます。



豊田幼稚園 保育教諭

深松 佳範

4月より豊田幼稚園で保育教諭としてお世話になっております。私は大学での専門が保育ではなく、教育であったことから、ほとんどがゼロからのスタートで、毎日乗り越えることで一杯です。同じ「人」と関わる仕事であっても、小中学校と違い、子どもの向き合い方や活動内容の工夫などに難しさを感じています。そんな中でも、元気いっぱい子どもたちと関われる幸せを感じながら、自身も日々成長していけるよう頑張ります。



豊田幼稚園 保育教諭 領家 愛

学生時代に実習園だった、豊田幼稚園に再びお世話になることになりました。

短大卒業後は、職種は様々ですが、長年保育の仕事に携わってきました。私の保育経験や、子育て経験。また、新たに学んだ理論が保育の場で実践力となるよう、経験や知識を広げていき、今後も保育や保護者支援にしっかりと生かしていけたらと思っています。よろしく願いいたします。



三好丘聖マーガレット幼稚園 主任補佐

北野 明子

マーガレット幼稚園に就職して11年目とはいえ、2度の産休育休をいただいているので実務としては8年と少しです。この度、主任補佐ということで、また今までのクラス担任とは違い、日々の業務に加え、益々園全体の事を保護者だけでなく職員一人ひとりの事を考えていきたいと思っています。「進化と継承」をモットーに、今自分にできることは何かを常に考えながら頑張りたいと思えます。



■ 学院人事

■ 退職

2023年3月31日付
[豊田幼稚園]
主任保育教諭 箕浦清美
保育教諭 斎藤萌由

■ 採用

2023年4月1日
及び5月1日付
[名古屋柳城女子大学]
教授 鈴木 裕子
招聘教授 服部 裕子
[名古屋柳城短期大学]
教授 富貴田智子
[柳城幼稚園]
教諭 荒井 優希

[豊田幼稚園]

主任保育教諭 原田 優子
保育教諭 青木 円花
阿部 百世
新井 愛唯
太田かおり
太田 直子
倉岡 蘭奈
深松 佳範
領家 愛

[三好丘聖マーガレット幼稚園]

主任補佐教諭 北野 明子

■ 昇任

2023年4月1日付
[名古屋柳城女子大学・
名古屋柳城短期大学]
就職課長 早川美智代
学生支援課長 樺木真理子
教務課係長 山村 亮子

■ 配置転換等

2023年4月1日付
[名古屋柳城女子大学]
アドミッションセンター長兼務
青山 佳代
[名古屋柳城女子大学・
名古屋柳城短期大学]
総合企画部長 中村 博文
総務部長 制野 司

アドミッションセンター副センター長
大澤 弘毅

■ 再雇用(特別任用職員)

2023年4月1日付
[名古屋柳城短期大学]
教授 榎戸 裕子

■ 理事・監事・評議員

理事長 菊地 伸二
理事 西原 廉太
土井 宏純
宮島 義人
織田 純代
豊田 和子
加藤 高明
三枝 和也
監事 矢野美季恵
本田 直樹

評議員 鬢櫛久美子
菊地 伸二
豊田 和子
若杉 雅夫
織田 純代
榎戸 裕子
鎮旗 真弓
三枝 和也
宮島 義人
加藤 高明
土井 宏純
後藤 香織
西原 廉太
山田やつか
三浦 由美
山本 里絵
松下 幸子
竹内 清
加藤 真人

マーガレット・ヤング基金

2011年に開始したマーガレット・ヤング基金には皆さまからの温かいご支援をいただき心より感謝申し上げます。
これまでに募金いただき他件数も延べ873件にもなりました。本当にありがたいことです。この用途については当初より、奨学資金充実、特別活動支援、教育研究

環境整備と定められていることから、丁寧な給付を行っているところで。
皆さまから頂いた基金を今後も大切に使用させていただきたいと思っております。
今後ともご支援よろしくお願いたします。

■ マーガレット・ヤング基金 延べ数等
延べ件数：873件
寄付金総額：23,303,673円

■ マーガレット・ヤング基金
給付奨学金制度利用者
2022年度：1名
@120,000 × 1 = 120,000円

収支報告

2023.3.31時点

項目		(円)	備考
収入	総額	1,832,648	(募金金額) - (手数料)
支出	給付奨学金	120,000	1件
	2023年3月31日残高	1,712,648	

2023年3月31日時点 口座残高 16,286,158円

引き続き温かいご支援をお願いいたします

編集後記

「第68号柳城学院報」をお読みいただきありがとうございます。
3年間にわたり猛威を振るいました新型コロナウイルスも5類への移行に伴い、生活環境も日常に戻つつあるようです。本学でも、通常の授業環境に戻り、学生の笑顔

や笑い声が響く毎日となっています。
また、本学は今年度125周年を迎えることができましたが、引き続き精進を重ね新しい歴史を刻んでまいります。
今後とも「柳城学院報」をよろしくお願いたします。
〈作成担当者より〉

同窓生の皆様の現況をお聞かせください

柳城学院創立125周年を迎え、名古屋柳城女子大学・名古屋柳城短期大学では、今年度以降、同窓生の皆様の現況を改めてお聞かせいただく計画をしております。簡単なアンケートフォームにて実施する予定です。本学院のさらなる発

展のため、加えて在学生・卒業生の関係づくりのためのものです。
本アンケートの趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただけますようお願い申し上げます。ご回答の外部への流出はないように厳重に管理いたします。